

安全ニュース

2020年2月号



令和 2年 2月 3日
千代田運輸 株式会社
CHIYODA
安全推進室 発行
(No.356号)

令和2年1月 発生事故

● 1月の発生事故は ありませんでした。

令和2年は、無事故でスタートすることができました。これは、全乗務員さん、並びに全管理者の方々のお蔭と、感謝しております。引き続き、安全輸送の継続をお願いいたします。

ドラレコ評価点数低調者の走行調査

昨年8月から実施している上記調査により、「評価点数下位者」に共通する運転の傾向が、下記のとおり浮き彫りになりました。

- ① ドライブレコーダーの評価点数を全く気にしていない。
- ② 急発進をする。(先頭で信号待ち停止した場合に、顕著に現れる)
- ③ 無駄な車線変更が多い。(運転に落ち着きがない)
- ④ 車間距離が短い。(信号待ち停止時も極端に前車に接近する)
- ⑤ スピードが速い。(直進時だけでなく、右左折時も多い) 以上です。

これが商品車を運転するプロドライバーと言えるでしょうか？我々が運んでいるのは商品車だということを忘れて下さい。上記の逆の運転をすれば、点数も上がり事故のリスクも軽減できます。さあ、今すぐ実践しましょう！

危険予知訓練の効果的実施を！

K(危険) Y(予知) T(トレーニング) で事故防止！

危険予知訓練は、もともとは、工場等の労働災害を防止するために行われた事故防止のための手法で、「KYT」とも呼ばれています。

写真やイラスト等を使用して、その中にどのような危険が潜んでいるかを予知(検討)し、「危険」を危険として気づく感受性を高めるための教育方法です。

危険予知訓練は、小集団で行うことで、自分では全く思いつかなかった危険に気づくことができます。

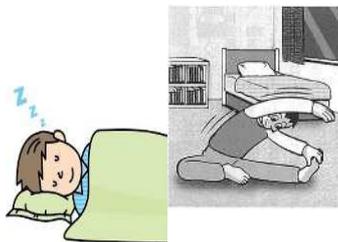
また、ドライブレコーダーに記録された映像を利用した危険予知訓練も、多くの事業所で実施されており、効果的な方法です。安全推進室が毎月発行している「今月のKYT」も、是非ご利用ください。



健康アドバイス ～ 「ぐっすり眠る」

睡眠不足が続くと、生活習慣病のリスクが高まると言われています。きちんと睡眠をとり、生活のリズムをしっかり作ることが大切です。

そのために、就寝前に簡単なストレッチを行う、寝酒はやめる、コーヒーなどのカフェイン飲料は就寝前の4時間以内には飲まない、ゆっくりお風呂に入る等、自分自身に合った、ぐっすり眠るための習慣を試してみたいかがでしょうか。



令和2年1月の優良ドライバー

★ 昨年10月から4ヶ月連続1位の「丸天・落合哲也さん」が特別賞を受賞！

ドライブレコーダー評価点数「トップ5」

- | | |
|----------------|---------------|
| 1位 (有) 丸天 | 落合 哲也さん (85点) |
| 2位 (株)四国ロジテック | 篠原 厚司さん (85点) |
| 3位 千代田運輸(株) | 西塚 昭男さん (81点) |
| 4位 (株)ジー・ロジテック | 晴山 清志さん (80点) |
| 5位 関東車輛 (株) | 田川 恒光さん (77点) |



- ※ 同点数の場合は、走行距離が長い方を上位とします。
- ※ 月間の走行距離が1,000km以上の方を対象とします。
- ※ 5位までのドライバーの方々には記念品を贈呈します。

私の交通安全

ヨシアース株式会社 今泉 誠さん(陸送)



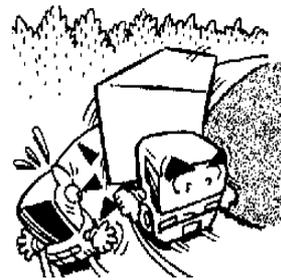
- Q 安全運転の心構えを教えてください。
- A 余裕を持って、焦らないことだと思います。後は、会社の方針でもある、「ルールの厳守」に尽きると思います。
- Q 趣味・余暇の過ごし方を教えてください。
- A DIYで車庫を造りました。車庫の中には趣味のバイクやロードタイプの自転車等が複数台入っています。
- Q あなたの自慢話を教えてください。
- A スキーのインストラクター資格を取りました。また、自転車競技の「標名山ヒルクライム大会」に出場し、60歳を過ぎて完走することができました。
- Q ご自分の長所・短所等、性格を自己分析してください。
- A 短所は、「周りに流され易い」所で、長所は、「我慢強い」所だと思います。
- Q 最近嬉しかったことはありましたか。
- A 昨年5月に娘が結婚したことです。次は孫の顔を見たら最高です。
- Q 最後に、同僚や後輩の乗務員さんに向けて、ひと言お願いします。
- A 全てに余裕をもった運行を、お互い心掛けましょう。そうすれば必然的に車間距離を取るようになり、事故のリスクも軽減できると思います。

トレーラーとのすれ違いに注意！

幹線道路を走行してきた大型トレーラーが狭い交差点を右左折するときや、大きなカーブを曲がってくる場合に遭遇してヒヤリとした経験は、誰も一度や二度はあると思います。

大型トレーラーの特性として、このような場所ではけん引している車体後部が旋回時に走行車線の幅に収まりきらず、対向車線にはみ出してくることがあります。また、車体が重く低速走行時すぐに止まれません。

これらの点を理解して、大型トレーラーの接近に気づいたときは大きいカーブの中ですれ違わないようにし、また、狭い交差点では、停止線より少し後方で待機して旋回しやすいようにスペースを空け、進路を譲ることで接触事故のリスクを回避しましょう。



SAやPAでのマナーを守ろう！

SA(サービスエリア)やPA(パーキングエリア)でのマナーを意識していますか？

NEXCO西日本に寄せられたマナーに関するユーザーの声によると、SAやPA内の小型車マスに大型車が、大型車マスに小型車が駐車している「指定駐車マス外への駐車」への意見が特に多く、ほかには、「道路路肩などへのゴミのポイ捨て」や、「SA・PA内での逆行」、「危険な速度」への懸念等が続いています。

SA・PAは、様々な車両や人が利用しています。マナー違反によるトラブルや事故を防ぎ、多くの人が気持ちよく利用できるよう、マナーを意識しましょう。業務中は、更に高い意識をお願いします。



編集後記

先日、新年会の席で尊敬している先輩とお会いし、近況の話題になりました。その中で衝撃を受けたことがひとつ…。先輩は昨年75歳の誕生日に運転免許を返納したとのこと。細かいミスが続いたことで決断に至ったそうです。

先輩は現役時代、運転技能競技大会で日本一に輝いた経験もあり、その姿とのギャップに時の流れを感じ、近い将来その時が来るであろう、自身の運転免許返納のタイミングについても考えさせられました。